



LEICA D-LUX 5 Firmware Update

お知らせ

D-LUX5ファームウェアアップデートについて


ファームウェアバージョン1.0より、以下の機能を追加および変更しました。

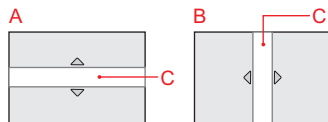
カメラ本体の取扱説明書と併せてお読みください。

- ファームウェアバージョンは、セットアップメニューの[バージョン表示]で確認できます。

マイカラーモードに [ジオラマ] を追加しました。

1. モードダイヤルを [📷] に合わせる
2. ▲/▼ で [ジオラマ] を選び、[MENU/SET] を押す
 - [ジオラマ]を選んだ状態で ▶ を押すと、鮮やかさを調整する画面になります。
 - ◀/▶ で調整し、[MENU/SET] を押して決定してください。
3. ▼を押して、設定画面を表示する
 - ぼかさない範囲を調整する枠が表示されます。
4. 枠の位置と大きさを調整し、[MENU/SET]を押して決定する

	A 枠が横向きのとき	B 枠が縦向きのとき
▲/▼	移動 (上下)	横向き(A)に 切り換え
◀/▶	縦向き(B)に 切り換え	移動 (左右)
	拡大、縮小 ●3段階で切り換えることができます。	
●[DISPLAY]を押すと調整した枠が初期設定の状態に戻ります。		



C ぼかさない範囲

お知らせ:

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- フラッシュは [Ⓜ] に固定されます。
- [ISO感度] は [AUTO] に固定されます。
- [ホワイトバランス] は [AWB] に固定されます。
- [オートフォーカスモード] は [■] に固定されます。
- [ISO感度上限設定]、[ISO感度ステップ]、[個人認証]、[暗部補正]、[連写]、[デジタルズーム]、[フラッシュ光量調整]、[オートブラケット]、[アスペクトブラケット]、[風音低減] は使えません。
- 動画に音声は記録されません。
- 動画は約 $\frac{1}{10}$ の時間で記録されます。(10分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります)
表示される記録可能時間は約 10 倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。([AVCHD Lite] 動画は、約 $\frac{1}{10}$ [NTSC] / $\frac{1}{8}$ [PAL] の時間で記録されます)
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- 大きい記録画素数に設定して写真撮影した場合、撮影後に画面が一定時間暗くなりますが、信号処理のためで異常ではありません。

マニュアル露出モード [M] 時のシャッタースピードを最大約 250 秒まで設定可能にしました。

マニュアル露出モードのシャッタースピードに 80 秒、100 秒、125 秒、160 秒、200 秒、250 秒を追加し、より長時間の露光をできるようにしました。

星空や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

撮影中に動画ボタンを押すと、撮影が中止されます。

セットアップメニューに [液晶調整]/[EVF 調整] を追加しました。


液晶モニター/外部ビューファインダー

(別売: Leica EVF1) の明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。

※液晶調整 / EVF 調整

1. セットアップメニューから [液晶調整] または [EVF 調整] を選び、▶ を押す
 - 液晶モニター表示時は液晶モニターを、ビューファインダー表示時はファインダーを調整します。
2. ▲/▼ で設定項目を選び、◀/▶ で調整する
3. [MENU/SET] を押して決定する

- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- [液晶調整]/[EVF調整]はカスタムセット登録されず、他の撮影モードに反映されます。


撮影メニューに  [高感度ノイズ低減] を追加しました。
[ISO1600] ~ [ISO3200] までの高感度撮影時にノイズを低減処理します。

使えるモード: **PASMM**   [OFF]、[ON]

お知らせ:

- ノイズの低減処理に時間がかかります。連続撮影をするときは、[OFF]に設定することをお勧めします。
 - 撮影条件によっては、ノイズ低減処理の効果が得られない場合があります。
 - [記録画素数] を [0.3M] 以下に設定時は動きません。
 - スナップショットモード、マイカラーモード、シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため設定できません。
- ただし、マイカラーモードの[カスタム]時は設定できます。


- 以下の場合は[OFF]に固定されます。
 - ・動画撮影時/[連写]/[オートブラケット]/[アスペクトブラケット]/ホワイトバランスブラケット/[マルチフィルム]

動画撮影メニューに  [アクティブモード] を追加しました。

光学式の手ブレ補正に加え、電子式の手ブレ補正が働き、歩きながら動画を撮影するときなど、大きな揺れに対してブレにくくします。

使えるモード: **PASMM**     [OFF]、[ON]

お知らせ:

- [ON] に設定すると画面に  が表示されます。
- 動画撮影時、画角は狭くなります。
- W端時に、より強い補正効果が得られます。
- 室内や薄暗い場所での撮影時、手ブレ補正が効きにくくなる場合があります。
- スナップショットモード時は [ON] に固定されます。
- 以下の場合は[OFF]に固定されます。
 - ・マイカラーモードの[ピンホール]、[サンドブラスト]
 - ・[撮影モード]を[MOTION JPEG]の[VGA]、[QVGA]に設定時
 - ・[手ブレ補正]の[OFF]設定時

設定した AF エリアの位置と大きさを記憶するようにしました。

[オートフォーカスモード]の [■] で AF エリアの位置や大きさを変更したとき、AF エリアの設定を記憶するようにしました。

シャッターボタン半押しによる AF/AE ロック維持操作を改善しました。

シャッターボタンの半押し状態を維持することで、ピントと露出を固定したまま続けて撮影できるようにしました。

1. シャッターボタンを半押しして被写体にピントと露出を合わせる (AF/AE ロック)
2. シャッターボタンを全押しして撮影する
3. そのままシャッターボタンを半押しの状態に戻し、AF/AE ロックを維持する
 - 手順 2、3 を繰り返します。

[MF] 設定時に、より簡単な操作でピントを微調整できるようにしました。

ワンショット AF でピントを合わせたあと、自動的に MF アシスト画面が表示されるようにしました。

1. フォーカス切換スイッチを [MF] に合わせる
2. ▲ (FOCUS) を押す
 - ワンショット AF 動作を行ったあと、自動的に MF アシスト画面が表示されます。
3. ◀/▶ でピントを微調整する
 - 後ダイヤルを回しても微調整できます。

本製品には、BSDライセンスに基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。BSDライセンスの条件については、下記のURLをご参照ください。

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/~m-mat/MT/MT2002/CODES/mt19937ar.c>



my point of view

Leica Camera AG / Oskar-Barnack-Straße 11 / D-35606 SOLMS / DEUTSCHLAND
Telefon +49 (0) 6442-208-0 / Telefax +49 (0) 6442-208-333 / www.leica-camera.com